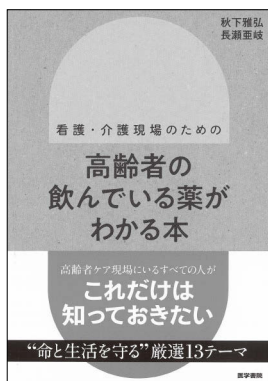


今月の3冊 プラス1



看護・介護現場のための 高齢者の飲んでいる薬がわかる本

著：秋下雅弘，長瀬亜岐
発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価：本体 2200 円＋税

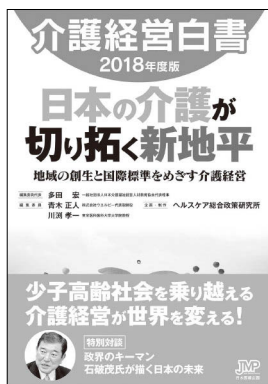
高齢者の多剤服用への知識と視点，対応策を，ポリファーマシー対策の第一人者が解説。事例を紹介しながら解説し，薬が引き起こしたと考えられる典型的な，高齢者ケア現場にいる全ての人が知っておきたい，“命と生活を守る”厳選 13 テーマを扱う。



精神疾患にかかわる人が最初に読む本

著：西井重超
発行：照林社 TEL：03-5689-7377
定価：本体 1600 円＋税

精神科の講義やテキストは難しくて分からないという悩みを持つ初心者に向けて，基本的なことが簡素に書かれている。著者が目指したのは「正解は厳密には言えよう」ではなく，「大体こんな感じ」を伝えること。細かい例外はほぼ無視して，実践で使えるレベルの必要最小限の知識を身に付けるための 1 冊。

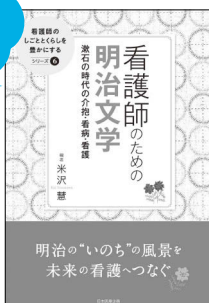


介護経営白書 2018 年度版

日本の介護が切り拓く新地平—地域の創成と国際標準をめざす
介護経営

編：多田 宏
発行：日本医療企画 TEL：03-3256-2861
定価：本体 4000 円＋税

今後，介護を必要とする人がその人らしく暮らせるかどうかは地域の力にかかっている。本書は，人的・物的資源に違いのある地域が，地域ごとに力を高めていく介護経営とは何かをテーマに，各地の介護事業，地域の取り組みに焦点をあてる。高齢社会先進国のわが国における，これからの介護を考える。



看護師のための明治文学

漱石の時代の介抱・看病・看護

著：米沢 慧
発行：日本医療企画 TEL：03-3256-2861
定価：本体 1500 円＋税

胃潰瘍の夏目漱石，脊椎カリエスの正岡子規，肺結核の石川啄木など，明治の文豪たちが書き残した看護師などとの関わりから，患者のいのちの物語に手をさしのべ寄り添うことが「看護の本流」であると再認識できる 1 冊。